

紫^し

SHIWA-NET

地域をサポートする広報紙

波^わ ネット



特集

「Close Up Shiwa
いきいきふるさと紫波」
子育て支援団体が語る
“地域と子育て”



産業まつり
TOPIX



能楽鑑賞教室
町の話

特集「Close Up Shiwaいきいきふるさと紫波」 子育て支援団体が語る“地域と子育て” 04

- 10 体協だより
「2010年度 冬季スポーツ教室のご案内」
- 12 報告 まちづくり座談会 その1
- 18 健やかランドしわー しわ健康情報コーナー

- 22 こちら、野村胡堂・あらえびす記念館
「銭形平次を読み解く」第8回
- 24 いってみよう～しわむかしばなし編～
「夜泣き石」「汗かき地蔵」「大日堂の怪石」などの昔話が残るお地蔵さん 桜町「爪書地蔵尊」



佐比内の語源となった中沢川(通称水無川)



紫波ネット803号 2010(平成22)年11月10日発行
岩手県●紫波町 〒028-3392紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川崎印刷株式会社

<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>

VOL.8

地名由来
さひない
佐比内

「佐比内(さひない)」という地名は、アイヌ語で「サツ・ピ・ナイ」が語源で、その意味は「枯れた小川」「乾いた細い沢」という説があります。

松くい虫による被害が拡大しています

町内各地で赤茶色に変色した松を目にすることが多くなってきました。これは、松くい虫に侵され枯死したものです。

松くい虫とは何なのか
町の対策はどうなっているのか
これまでの経過や被害状況などを交えてお知らせします。



松くい虫発生仕組み

松林に被害をもたらす松くい虫は、マツノザイセンチュウという体長1ミリの線虫が、松の樹体内に入ることによって引き起こされます。線虫を松から松へ運び、被害を感染拡大させているのはマツノザイセンチュウというカミキリ虫です。

全国的情勢

松くい虫（マツ材線虫病）による被害は、北海道、青森県を除く全国45都道府県で発生しています。太平洋側は岩手県中南部、日本海側は秋田県、青森県境付近に達していることから、今後はさらに北上することが懸念されています。

県と町の経過

県内で初めてセンチュウが確認されたのは1979年。その後、町内まで被害が達し2000年度に初めて8・63立方メートルの駆除を実施。急速に被害が拡大したため、国、県の事業を活用しながら、これまで10年間にわたって対策を講じてきました。

被害処理の方法

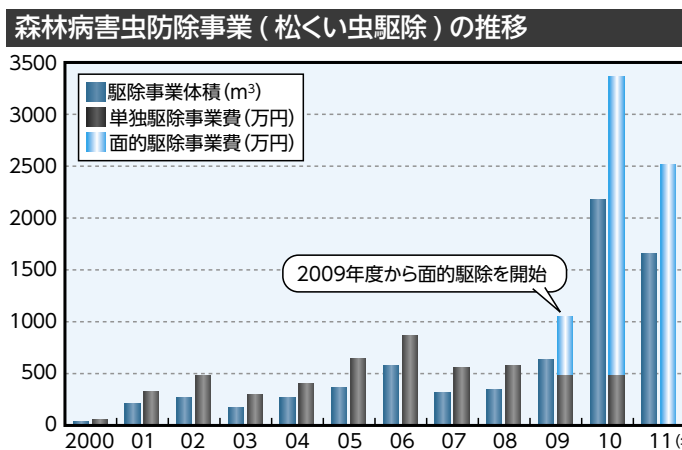
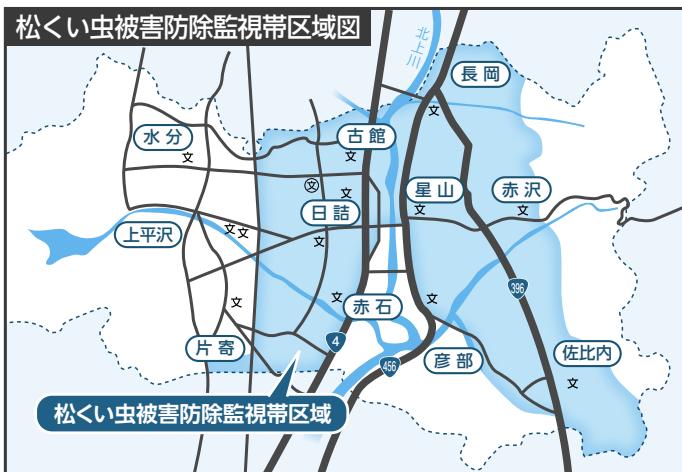
駆除方法は、①感染により枯死した木のヤニ打調査 ②カミキリ虫の産卵対象となるヤニの出が悪くなった危険木の伐採 ③伐採した危険木をビニールで覆い薬剤でくん蒸

拡大防止

幅4メートルの監視帯に県の監視員が入り、危険木の発見と早期駆除に努めています。また、町の皆さんからの通報をもとに、感染の疑いがある松を調査し、被害木の駆除処理をしています。被害が拡大しているのは、地球温暖化などが影響しているものと考えられています。

今後の対策

これまで町が北限とされていた松くい虫被害は、09年、10年に盛岡市の山林と矢巾町の庭木で感染が確認されました。町は、駆除区域をこれまでの点から面に変更し、09年度から3年間は、長岡地区から彦部地区の範囲を集中的に駆除する計画です。



面的駆除の3年計画			
年度	事業量	事業費	実施・計画場所
2009年度 (実施済)	10.78ヘクタール 材積300.35m³	5,118,750円	北沢地内 西長岡地内 犬吠森地内 星山地内
2010年度 (計画)	82ヘクタール 推定材積1,853m³	27,333,000円	北沢地内 江柄地内
2011年度 (計画)	75ヘクタール 推定材積1,695m³	25,055,000円	星山地内 遠山地内

※薬剤処理後の残材利用は所有者の自由ですが、町は、有効な活用方法として、ペレットの原料としての活用策を模索しています。



第27回紫波町産業まつりは、10月16、17の両日、サン・ビレッジ紫波で開催されました。紫波中央駅前開発が進む中、会場レイアウトを変更しての開催でしたが、2日間で2万1千人が訪れ、もち振る舞いや試食販売などは毎回長蛇の列ができていました。今年は、紫波総合高校の創立80周年を記念して結成された同校郷土芸能部によるさんさ踊りが披露されるなど、室内イベントも大盛況。3組の家族で訪れた日詰地区の小林美保子さんは「産業まつりは、おいしいものがたくさんそろっているの毎年来ています」と楽しんでる様子でした。盛岡市から訪れた佐々木弘子さんは「子どもの遊ぶところがたくさんあっていいですね。野菜が安くてうれしいです」と話していました。



町の産物が勢ぞろい！
産業まつりに
来場2万1千人





クローズアップ
CLOSE
UP

いきいきふるさと
Shiwa

心豊かに誇りたかくふるさとに生きる
地域の皆さんを紫波ネットが応援します。

子育て支援団体が語る
“地域と子育て”



子どもたちを
地域の中で
安全にすこやかに
はぐくみたい
そんな願いを込めて
子育てを
応援しています。

少子高齢化が進む現代、
未来の地域社会を担う
子どもたちを
どのように守り育てるかが
地域社会の大きな課題となっています。
今月は、日ごろ子育て支援活動を
積極的に行っている団体の皆さんによる
座談会の様子をお伝えします。





7月8日に紫波中央駅で行われた対談の様子

町の子育て環境を考える

見守り、育^{はぐ}み、喜びを分かち合うために

町は、住みよい暮らしや郷土を守る活動を支援するため、今年5月に公開審査により「地域づくり活動補助金」を交付しました。紫波ネットでは、補助金を交付した団体のうち、子育てにかかわる4団体にあらためて集まっていたいただき、それぞれの活動を踏まえながら、子育て支援について語り合っていました。

地域が子育てできる 仕組みづくり（活動紹介）

佐藤（周） ○赤石地区子育て支援ボランティア「なかよしひろば」では、未就学児童の親子のひろばを赤石公民館で月2回開いています。地域の行



赤石地区子育て支援ボランティア
「なかよしひろば」 会長
佐藤周子さん



子どもを通して母親をはじめ保護者と地域の交流の場をつくり、地域の人が気負うことなく子育て支援にかかわることのできるきっかけづくりを目的に活動。交流の場に参加するボランティアや多くの協力者による活動を通して、心豊かな地域づくりを目指している。自治公民館単位に開かれる子育て支援広場「出前なかよしひろば」などにより、地域の評価も高く、長年の活動で培った厚い信頼関係により地域との連携が広がっている。

■2010年「地域づくり活動補助金」応募
「出前なかよしひろば」と「ちょこっとあずかり」

事にも配慮しながら、自由遊びでにぎわう「フリーひろば」や「なかよしひろば」など、独自の企画を計画的に行っています。約35組の親子が参加していますが、「フリーひろば」は親の要望が多く、回数を増やせないかと検討中です。

「フリーひろば」は、自由に何でも情報交換できる場として、大切な場所になっています。

佐藤（富） ○学社ゆうこう支援グループ「えんのした」は、紫波一中のゆうこう事業にかかわった地域の皆さんが母体となつて2006年に活動が始まりました。放課後の子ども教室のコーディネートや「ちびっこ部屋」を開設しています。「ちびっこ部屋」は、参観日や入学式、卒業式の日未就学児の居場所づくりです。子育ては、親に任せっきりでなく、地域が子育て

できる仕組みができると良いと思っています。

細川（恵） ○昨年5月の広報で紹介いただいた「紫波さぷり」の細川です。

先日、矢巾町で「グラン・ルーム」という生後3カ月から小学校中学年までの預かりの場を開いている「矢巾町子育てボランティア保育ママの会」の人のつながりができたのですが、紫波町とは子育て支援の環境に違いがあるようです。子育て環境を考えると「地域」を考えることが大切だとあらためて感じました。

山本 ○「きらりん」は、子どもを預けたい人のために幼児保育を行っています。預かりは、幼児から小学生までを対象にしています。近年は、保育ママの育成と育児講座が「きらりん」の大きな活動のテーマとなっています。

※保育ママとは、主に3歳未満の児童を保育者の居宅で保育する通所の施設（保育者）をいう。



お母さんたちがヨガ教室でリフレッシュ(紫波さぶり)

学社ゆうこう支援グループ
「えんのした」
代表 佐藤富美子さん



学社ゆうこう支援グループ
「えんのした」
細川恵子さん



“学社ゆうこう”とは、学校教育と社会教育との融合をさす言葉。一般的には、学校と地域社会が共通の目的の下に協力し合う関係を築く取り組みや協力関係のことを言う。「えんのした」は、大人が一体となって子どもをはぐくむことを目的として、地域と学校との連絡調整や地域子ども教室の開催を行っている。本年度は例年の活動に加えて「子どもたちと育つまち」をテーマに、講演会やワークショップを展開中。

■2010年「地域づくり活動補助金」応募
「子どもたちと育つまち」えんのしたまつり
シーズン2



細川(奈) ○わたしは、町で保育ママを10年以上にわたって実践してきました。単なる幼児預かりの場ではなくて、お茶会みたいな情報交換の場にしたいという子育て中の母親からの要望があつて始めたことでした。

最近では、保育所時間外の保育の要望や身近に子育てについて相談できる相手がいないという悩みを聞くようになってきました。わたしたちは、保育ママが町内の各地域にいるような環境づくりのお手伝いしたいと考えています。

菊池 ○わたしたちは、地域のつながりを考えながら、地域が子どもたちとかかわる活動を行っています。会の名称に象徴されるように「子どもたちを見守る」ことを使命とした「まちづくり」ですから、主人公は子どもたちです。

地域と子どもたちをつなぐ活動についての提案書には、8つのプログラムが書かれています。小中学校の保護者や先生へのアンケート調査を経て、7回ほどの検討会を重ねて活動内容が決まりました。

八重樫 ○プログラムには「昔なつかし、おやつづくり」「われら環境探検隊!」「モモコに続けー川掃除」「スペシャルリフトに学ぼう(水泳・スキー・スケート)」などがあります。子ども会や地域の行事、中学生の社会参加活動などの行事で活用してもらう予定です。わたしは川掃除プログラム担当です。

地域としての川掃除は5年目を迎えています。川に捨てられるごみは依然として減っていないのです。その現実を子どもたちに伝えたいと思います。



『元気で明るく、健やかな子どもを地域ではぐくむまちづくり』を目指し、PTA 活動や子ども会活動など保護者が中心となってきた子ども対象の活動を、地域が支援する取り組みを進めている。地域と子どもたちをつなぐ活動について提案書を作成。子どもたちの自主的な活動をサポートする。古館小学校の児童を対象に開かれた「明日を見つめる子どもリーダー研修会」では、本格的なワークショップが開かれた。

■2010年「地域づくり活動補助金」応募
「子ども達を見守るまちづくり」プロジェクト



みんなで楽しくお遊戯 (なかよしひろば)

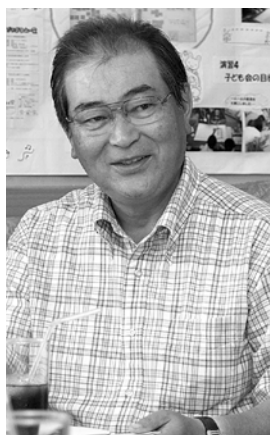
多彩な活動があること それが町の力

細川(恵)○子育て環境ということですが、ほかの市町村の人から見ると「紫波町にはいろんな取り組みがあって、選ぶことができるからいいね」と言われたことがあります。必要があれば自力で活動する熱意と力があるのかなと思います。

町の施策まかせではなく、地域の人たちが協力して、あるいは個人で、新しい道を開く人たちがいますね。

佐藤(周)○子育て支援センターがボランティアを育てて、地域の人材を確保したいという市町村もあるようですが、住民主体の自発的な取り組みがあるということは紫波町の大きな力になっているのではないのでしょうか。

菊池○自発的な取り組みができるの



子どもたちを見守る
まちづくり委員会
委員長 菊池 眞さん

は、地元を愛する心があるからですね。最近の子どもたちは体力的には元気になってきたけれども、自主性が薄れているように感じます。これは想像ですが、ふるさとを愛する心が薄れてきたということではないでしょうか。

子どもには、幼児期から健やかに育つ環境が必要です。自分の住む地域をふるさとと呼べる環境と子どもの心を包む温かい愛情が必要です。

子育てママに ひとりじゃないと伝えたい

細川(恵)○「きらりん」さんでは「子育て講座」と言っていますね。子育てではないのですか。

細川(奈)○「子育て」というとき、親から子どもへの一方的な視点しかあ



子どもたちを見守る
まちづくり委員会
八重樫栄司さん

紫波町保育ママの会「きらりん」
代表 細川奈津子さん



紫波町保育ママの会「きらりん」
山本明美さん



りません。でも、わたしたちは子どもだけが育つのではなく、親も子育てをしながら成長するのだと言いたいのです。その視点を加味して、子が育つ姿を両者が自覚しながら見ている状態を「子育て」と言っています。

佐藤(寛) ○学ぶということにもつながると思いますが、公民館も団体も互いの情報交換の場があるといいと思います。情報交流の場を持ちましょう。

佐藤(周) ○わたしは悩みのあるお母さんを救いたいです。座談会のテーマは子育て支援ですが、親の生活設計や課題を解決するお手伝いをしなければと思うのです。地域の人がお母さんを育ててほしいと思っています。

そして、何より子育てママに、「ひとりじゃない」と伝えたいのです。子育てママさん、ぜひ地域の「出前なか

よしひろば」に来てください。

どんどん 子育て支援の現場を 見に来てほしい

佐藤(寛) ○わたしは、子どもたちと一緒に地域の人たちも育つことを考えながら活動したいと思っています。子どもたちが選択して行動し、一緒に活動に参加してくれることが理想です。子どもたちと地域と学校がゆるやかな形で交流を継続できるようにしたいと思っています。そのためは、やはり楽しみながら活動することでしょう。

菊池 ○わたしは、子どもたちとのワークショップがきちんと成立していることに驚きながら感激しています。現場にいると子どもたちの豊かな想像

町の保育ママや「きらりん」スタッフが中心となって、子育て中の親子や妊娠中の方が安心して子育てできる環境を整え、子育てしやすいまちづくりを目的に活動。少人数で行われる「子育て講座」や「会員向けのスキルアップ講座」は、親がリフレッシュできて、子育てを楽しむことができる場として開かれている。

■2010年「地域づくり活動補助金」応募
保育ママによる親子で安心できる
子育てプロジェクト



地域子育て 創生フォーラムを 開催しました

「子どもと共に育ち合う町」そんな姿を町の皆さんと一緒に考えようと、去る10月9日、盛岡南ショッピングセンターナックスを会場に、町は「地域子育て創生フォーラム」を開催しました。会場には、子育てにかかわる各団体の人たちや、子育てに関心のある人たちが約50人集まりました。

第一部では、8月から実施している「子育て創生ワークショップ（研修会）」の参加者から、途中経過が発表されました。現在開発が進む紫波中央駅前のオガールプラザ。そこに入居を予定している子育て支援施設をどのような施設にしたいか。テーマ別に6つの班に分かれて話し合われた内容を語っていただきました。

第2部は、和歌山大学の山本健慈学長による基調講演が行われ「子どもたちは大人が考える以上に生きる力を持っている」こと、「大人が人とかわることを実践することで子どもたちも変わる」ことなどについて提言され、会場に強い共感を呼びました。

第3部は、大阪府のアトム共同保育園から市原悟子園長を招いて「地域の笑顔は子どもの未来」と題してのフリーディスカッション（自由討議）が行われました。市原悟子園長は、参加者からの問いかけに対し「子どもの保護者と保育士が本音を語り合うことが大切」などと、保育園での経験をもとに答えていました。



学校行事に合わせて子どもを預かる「ちびっこの部屋」（えんのした）

力に感動しますよ。

佐藤（周） ○まさに、そこが重要。現場にすることが大切なんです。わたしは、市民参加条例の策定にかかわってきましたが、行政だけで進めるのではなく、地域住民の参加を今以上に募るべきです。紫波町ほど公募人数の多い町はありません。行政にお願いしたいのは、どんどん現場を見てほしいということです。

子育て環境は、日々変化しています。地域、文化、習慣、世代、そして時代の変化など。進化もあれば後退もあるかもしれない。親子関係、家族関係は、少子高齢化も相まって、10年前とは大きく違ってきています。地域づくりの大切さが言われて久しいのですが、子育て環境は最も重要な

テーマだと思います。未来をつくるのは子どもたちですからね。

協働の地域づくりって何でしょうか。わたしは、まずは最初に情報を共有することではないかなと思います。課題や悩みや夢や希望を知り、喜びも悲しみも共に分かち合うことではないでしょうか。地域で子育てを支援するというとき、そこで何が起きているかを、行政はもちろん地域の皆さんが知ることが大切です。子育てに関心のある人は、ぜひ、子育て支援の現場を見てください。「なかよしひろば」だけでなく、子育て支援の現場に来れば、今、何が求められているかを知るヒントがあるように思います。

町からの メッセージ

次世代を担う子どもたちのために、 町の事業が大きく動き始めました

子育て応援センター（仮称）のデザインや運営について、より良い姿を検討するワークショップの中からたくさんの声がわき上がり、徐々に“かたち”になろうとしています。地域の中では、子どもたちにかかわる人たちのつながりが広がり、そのつながりを支える場所や仕組みが求められています。新しい次世代育成支援行動計画や総合計画の中でも、身近な場所で子育ての喜びを共有できるような町、そして、これから育つ子どもたちに「ふるさと」として愛されるような町を目指しています。

「地域の子どもを地域で育てる」という思いを持って、町の皆さんと一緒に“子育て支援”を進めていきたいと考えています。



ワークショップの発表

山本健慈学長



体協だより

●発行● 財団法人 紫波町体育協会 ☎676-2650
E-mail: taikyou@gymna-shiwa.jp



2010年度 | 冬季スポーツ教室のご案内

11月29日(月) 午前9時から総合体育館窓口で受付開始

教室受講希望者は体育館窓口で会員登録が必要となります。詳しくは体育館窓口でご確認ください。

会員登録料	幼 児	小中学生	高校生以上	60 歳以上
	無 料	800 円	1,300 円	1,000 円

教室名〈会場〉		内 容	期 間
ス ケ ー ト 教 室 〈石鳥谷アイスアリーナ〉		初めての人でもスケート靴の履き方から指導するので安心。レベルに応じてクラス分けをして指導します。 対象：小学生以上 / 定員：40 人 / 参加料：小中学生 3,500 円、高校生以上 4,000 円 / 指導者：町体育指導委員ほか	1 / 5・6・7 (水～金) 午前8時30分～11時30分 総合体育館集合でバス 送迎します
ス キ ー 教 室 〈網 張 ス キ ー 場 〉		スキーの基本から応用まで個人の技術レベルに応じてクラス分けをして実施します。 対象：小学4年生以上 / 定員 40 人 / 参加料：小中学生 4,000 円、高校生以上 4,500 円 / 指導者：町スキー協会員 / リフト代 (中学生以下 1,500 円、高校生以上 2,000 円) は個人負担	1 / 8・9、15・16 (土・日) 午前8時～午後4時30分 総合体育館集合でバス 送迎します
ス ノ ー ボ ー ド 教 室 〈網 張 ス キ ー 場 〉		初めて挑戦する人から、レベルアップしたいと考えている人まで個人の技術レベルに応じて指導します。貸し用具が有るのでお問い合わせください。 対象：小学5年生以上 / 定員：20 名 / 参加料：小中学生 4,000 円、高校生以上 4,500 円 / 指導者：SAJ・JSBA 公認インストラクター / リフト代 (中学生以下 1,500 円、高校生以上 2,000 円) は個人負担	
小 学 生 ス ポ ー ツ 教 室 〈総合体育館〉	1・2 年 コ ー ス	さまざまな遊びの中で運動能力向上を目指すプログラムで指導します。 対象：小学1・2年生 / 定員：20 人 / 参加料：800 円 / 指導者：体育協会職員	1/11～1/13 火曜～木曜 (3回) 午前9時30分～10時30分
	3・4 年 コ ー ス	さまざまな遊びの中で運動能力向上を目指すプログラムで指導します。 対象：小学3・4年生 / 定員：20 人 / 参加料：800 円 / 指導者：体育協会職員	1/11～1/13 火曜～木曜 (3回) 午前11時～正午
ジュニアスポーツアカデミー 〈 総 合 体 育 館 〉		運動に必要な動作を楽しいプログラムの中で習得することを目指します。 対象：小学4～6年生 / 定員：15 人 / 参加料：1,500 円 / 指導者：体育協会職員	1/24～3/28 毎週月曜 (9回) 午後5時～6時 3/21 は休講
ちびっこサッカー教室 〈サン・ビレッジ紫波〉		サッカーの基本からミニゲームまでができるまで指導します。内履き用のシューズをご持参ください。 対象：小学1～4年生 / 定員：30 人 / 指導者：町サッカー協会員 / 参加料：1,500 円	1 / 8～2/5 毎週土曜 (4回) 午後2時～4時 1/22 は休講

* 教室受講希望の人は総合体育館にて会員登録を行ってください。

* 教室は初心者・初級者を対象としたプログラムで行います。

* 開講2日前までに、5人以上の申し込みが無い教室は開講致しませんのでご了承ください。

問合せ 総合体育館
☎ 676-2650 有線 01-3151

お 知 ら せ

■運動公園駐車場について

現在、運動公園駐車場拡張工事と、3カ年計画で桜町河川ポンプ場の改修工事を行っています。来館される皆さんにはご迷惑をおかけしますがご理解をお願いします。

■総合体育館・年末年始の休館日 12月30日(木)～1月2日(日)

12月29日(水)と1月3日(月)は、特別開館(午前10時～午後4時・団体利用を除く)となり、1月4日(火)より通常開館(午前9時～午後9時)となります。



腰につけたタグを取られないように相手を抜きます



ライオンズクラブの田森会長も体験



タグラグビー フェスタ開催

小学生の体力向上と交流を目的とするタグラグビーフェスタが陸上競技場で開催されました。参加児童は一つの楕円のボールを仲間でつなぎ、助け合いの心を学びました。フェスタ終了後には、紫波ライオンズクラブにより豚汁が振る舞われ、参加者・保護者が交流を図りました。



股関節を伸ばして歩幅を広くする練習



小学生スポーツ教室 「走り方を学ぶ」が開催

北上翔南高校陸上競技部監督の本正園子氏と同校陸上競技部員を招き、小学4～6年生が速く走るためのコツを学びました。全てのスポーツの基本となる「走り方」を本正氏はみんなで楽しめるようなプログラムで実施し、参加者は笑顔を見せながらコツを学びました。

12月のイベント

「妖精の舞」～女子新体操

北上翔南高校・盛岡第三高校・盛岡白百合高校が出演する女子新体操の公開練習・演技を開催します。

■平成22年12月23日(木)・24日(金) 公開練習

12月25日(土) 公開演技

(午後1時～オープニング)

* 詳細時間は体育協会までお問い合わせください

■場所：サン・ビレッジ紫波

(注意) 内履きまたはスリッパをご持参ください。
また、自由観戦になります。



報告 まちづくり座談会

その1

町の皆さんから町政に対しての提言などをお伺いする「まちづくり座談会」は、7月26日から8月4日までの期間に、町内全9地区で開催し延べ149人が参加しました。各会場で出されたご意見の一部を、今月と来月の2回に分けて紹介します。



赤沢公民館会場

7月26日(月) 午後7時～9時

◎遊休農地が増えていることから産業誘致など、若者が働く場所としての雇用創出をしてほしい。

①町は、商・工・農の連携を進めて第6次産業化を目指しています。産業誘致も進めていますが、雇用人数は少ない状況ですので、今後もハローワークと連携しながら取り組んでまいります。

◎消防団員不足が心配。会社勤めの人が多く、誘っても時間がないから

と断られる。操法競技会の訓練に費やす時間が膨大で負担がかかっているのでは。操法競技会のあり方についても検討してほしい。

①消防団員は、さまざまな理由でなかなか増えていない現状にあります。操法競技会をなくすのは難しいですが、負担軽減については、消防団としてどうしていけば良いのか考えたいと思いますので、お時間を頂きたいです。

◎少子化の対策として、子ども連れが移住してくるようなまちづくりを行ってはどうか。例えば、近年子



座談会のテーマ「総合計画」の説明



参加者からの質問に答える藤原町長

どもたちの学力低下が叫ばれているが、土曜日をもっと学力向上に役立てられないものか。

①昨年度の調査では、町の学力は、小中学校ともおおむね県平均を少し上回る状況でした。教科や学校により課題が見られ、学力対策から少子化対策へつなげることは必要と考えています。

彦部公民館会場

7月27日(火) 午後7時～9時

◎彦部地区の子どもが少なくなってきた。学校の統廃合を考えていかなければならないのではないか。

①当分は統廃合を行う予定はないが、今後様子を見て、統廃合を考えなくてはならない時期がくるのでは

ないかと思っています。

◎年齢構成に応じた「生き生きとした暮らし」のサポートが求められていると思う。年齢構成の変化を踏まえた総合計画を立てて欲しい。また、職業ごとの将来像が見えてこない。町はどのような方向性でいくのか。

①年齢構成の変化を踏まえた総合計画の策定については、肝に銘じて取り組んでいきたいと思っています。また、町の産業については、紫波町は農業を基盤とした施策を行ってきたため、6次産業（1次産業×2次産業×3次産業）を目指した取り組みなどを行っています。

◎少子化問題に加えて、心の病の問題、不登校問題、そしてその子どもを育てる親世代の心の問題がある。子育て世代、働き盛りの世代を元気にしていくことが、元気な町を作っていくために必要。親世代を元気にする人材育成方法があればよいと思う。

①満足度調査では、40歳代の満足度が明らかに低いです。子育てと職場の両立、地域とのつきあいなどが両肩にのしかかってくるストレスの多い年代ですので、声なき声を吸い上げていく必要があると思います。そして、総合計画に反映させ今後取り組みんでいきます。

◎農業後継者問題について。どのような支援対策があるのか。

①農業後継者問題は、ここ10年で深刻化すると見込んでいるため、対策の一つとして、新規就労者の支援を行っています。また、後継者育成支援として、農林業公社を設置し、農業だけでなく林業も含めて対策を考えていきたいです。新規就農者へは、その人が自分に合った農業スタイルを見つけるまでの研修期間を支援できるようにしたいと思っています。

佐比内公民館会場
7月28日(水) 午後7時～9時



◎8月から新しいごみ分別処理が始まるが、高齢者の一人暮らしや、ごみ袋を運べない人がいるのではないかと思います。どのようにしたらよいのかヒントがほしい。

①集積所までが遠いなど、同じような声がほかの地区からも聞こえてきます。ごみの収集に対する明確な答えはないですが、独居老人の場合、個別収集をする方法やヘルパーにお願いしているところもあるようです。今後、ごみの収集についても対応策を考えていきたいです。

◎県立紫波診療センターのベッド65床の活用をどうするのか。総合計画に「健康で安心して」というものを掲げているように、少子化・高齢化に対する方策を何か立ててほしい。町には終末期医療が必要である。

①現在盛んに協議中です。他市町村と同じ轍を踏まないように、時間をかけて活用方法について検討していきます。

長岡公民館会場

7月29日(木) 午後7時～9時

◎地域に一人暮らしの高齢者や、高齢者だけの家庭が増えていることが不安。何か対策は。





④町には現在、65歳以上の一人暮らし世帯と65歳以上のだけの世帯が1200世帯ほどあるため、一人暮らし世帯の人が倒れたときの緊急連絡先を調査しています。また、1年に1回は直接訪問して状況を把握しています。発作的な病気を抱えている人には、N-T-T回線を使ったセキユリティー会社が駆けつける仕組みもあります。最近では少なくなってきましたが、隣近所の人々が毎日見守りを行っているところもあります。役場だけでは把握できない部分

もありますので、地域の人たちの協力をいただきながら進めていきたいです。

◎少子化に伴い、児童館や保育所などの施設の統廃合を考える必要があるのではないかと。

また、子育てを支える環境の整備が必要である。

④児童館、保育所の統合の見込みについては、現在調整中です。また、紫波中央駅前に子育て応援施設を新設する予定です。駅前に子どもを預

けて親が働きに行けるようにしたいと考えています。

◎犬草停留所のあたりにクマが出て、子どもたちの通学に危ないので、「クマ出る」看板の設置や、わなの対策をしてほしい。

④今年は館森神社の北側に出てくるようになってきました。看板の設置はご要望にお応えします。わなはクマが確実に出るという場所を特定してから設置します。場所特定のためにも、クマの目撃情報は環境課にお寄せください。

保健センター会場

8月1日(日) 午前9時30分～正午

◎大坪川の河川改修、堤防づくりを行ってほしい。陸上競技場の観客席を高くしたりして、堤防のようにしてほしい。100年くらい守れるのではないかと思う。

④運動公園は遊水池としての機能があります。特に野球場は構造上、地中を通って大坪川の水が入るようになっていきます。堤防を越えて水が入ってきているわけではありませ

の整備計画を立てています。最近の降雨の傾向を見ると、なかなか計算通りにはいかないので、緊急時の連絡体制を強化していきます。

◎紫波中央駅の東口をつくり、電車から降りた客が、日詰の街に歩いていけるようにしてほしい。日詰の活性化につなげたい。

④東口の道路計画は徐々に進んでいます。駅の東口については、地域を包括した考え方でエレベーターも視野に入れて計画を立てていきたいです。乗降者人数が多ければ、JRに設置義務がありますが、紫波中央駅は少ないため、町で作らなくてはなりません。

◎紫波中央駅前地区の施設への車の出入り口・歩道は、道路から歩道に上がる部分が傾斜になっている構造か。冬場に傾斜部分を歩くと滑って転ぶ。高齢社会に適した歩道とするため、歩道との境は縁石だけにして、平らにするなどの検討をしてほしい。

④障害のある人も不自由なく使える道路として、ユニバーサルデザインを意識し、平らな道路計画を立てています。ただし、道路と歩道は5センチの段差がある構造です。それは、車道側の2センチから5センチにすりつくゆるやかな段差になります。

心待ちのファンで行列 ラ・フランス温泉館で「新そば祭」

稲藤第一農産加工組合の「新そば祭」が、ラ・フランス温泉館で10月10日に開催されました。年々人気が高まり、食券売り場は行列が絶えないほどの盛況ぶりでした。そば打ち体験をした盛岡市の吉澤研二さんは「粉から練り上がったいく過程がおもしろいです。紫波のそばは、香りが強くて甘みがあり、硬さもちょうどいいので、小さい子ども喜んで食べています」と満足そうに話していました。



「そば打ちって楽しいね」



ステージでさんざ踊りを披露する郷土芸能部の皆さん

80年の歩み誇りに 紫波総合高校で式典

紫波総合高等学校の創立80周年記念式典は、10月9日に同校体育館で挙行されました。坂本晋校長は式辞の中で「個性を生かした自己実現をもたらす学校として努めたい」と述べ、生徒代表の3年生七木田勲さんは「この式典を境に一人一人が未来に向けて、誇りを胸に歩み出すことを誓います」と述べました。終わりに、80周年に際して発足した郷土芸能部による船久保さんが披露されました。

赤沢小学校で能楽教室 仕舞・謡い・四拍子を体験



児童たちが「羽衣」の仕舞を体験

赤沢小学校（阿部郁子校長、児童数68人）は、10月1日に岩手県能楽連合会を招き、岩手県文化振興基金助成事業として能楽鑑賞教室を開きました。地域住民を含む約100人が、能楽の歴史などの説明を受け、『高砂』の謡や『羽衣』の仕舞などの実演を鑑賞しました。舞台いこを体験した同校2年生の藤原歩未さんは「難しかったけどうまく踊れて楽しかった」と笑顔を見せていました。

紫波一中で豆腐作り

紫波第二中

学校の1年生56人が、総合学習の一環として、豆腐作りに挑戦しました。昨年収穫された大豆をミキサーにかけ、水を加えてゆでてしぼり、にがりを混ぜて、ガーゼを敷いた牛乳パックに流し込み重しを乗せました。豆腐作りは初めてという上野圭太さんは「パックから取り出した時、ちゃんと固まってうれしかった」食べてみると「豆の味がしっかりしています」と話していました。



ちゃんと固まって思わずニコリ

開店5周年・彦部産直まつり



恐る恐るクマ汁を食べる子どもたち

彦部産直組合^ら（畑山輝雄組合長）は、開店5周年を記念し、10月3日に産直まつりを開催しました。特設ステージでは、もちつきやさんさ踊りが披露され、クマ汁や芋の子汁が無料で配られました。沿道6キロに植えられたキバナコスモスの種も、自由に持ち帰らせていました。盛岡市から訪れた小学5年生の藤原瀬七くんは「思ったより柔らかくておいしい」と言ってクマ汁をほおばっていました。



阿部さん(右)に教わりながらみんなでギョーザの皮包み

米寿のお祝いに町長が訪問



ご夫婦で米寿を迎えられた藤原芳夫さんと妻のナコさん

88歳の米寿を迎えられた23人のお宅に町長が訪問しました。これは永年社会に貢献された^{おき}芳い長寿を祝福するものです。9月29日には、夫婦で米寿を迎えられた水分地区の藤原芳夫さん、ナコさん宅を訪ねました。戦時中、ボルネオ（インドネシア）で戦闘機の整備をしていたという芳夫さんは、長寿の秘けつを「よく寝ること」と話していました。今年、町内の米寿該当者は123人でした。



「見て見てこんなに大きいよ」

秋の味覚いっぱい 「2010紫波町秋の大収穫祭」

町内産のフルーツやそば、肉、ワインなどが味わえる、町観光交流協会主催の「秋の大収穫祭」が、10月3日に紫波フルーツパークで開催されました。やなだ真栄さんの三味線や自衛隊音楽隊の演奏、FM番組の収録として松本哲也さんのライブなど、イベントが盛りだくさんでした。ぶどう狩りをしていただいていた水分小2年生の武田竜ちゃんは「甘くておいしい。お土産の分も採って帰ります」と笑顔でした。

中国の料理と言葉に ふれあう会 宅老所えんどり古館

NPO法人宅老所えんどり古館は、中国から町内に嫁いで10年目の阿部祐香さんを招いて、中国の家庭料理や中国語を楽しむ会を開きました。阿部さんは、同所利用者と一緒に水ギョーザを作りながら、中国語と日本語の違いなどを話して交流しました。ギョーザの具材は、豆腐、ニラ、桜エビ、ゆで卵を混ぜたものと、豚肉とキャベツを混ぜたものの2種類。皮も薄力粉をうどんのようにこねて作りました。

お知らせ

一生に一度は受けましょう！ 肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルスに感染していると、そのウイルスによって肝臓の細胞が壊れ、進行すると肝硬変・肝がんになることもあります。肝炎の早期発見・早期治療が肝がんを防ぎます。まだ検査を受けていない人は、肝炎ウイルス検査（血液検査）を早く受けましょう。

無料・肝炎ウイルス検査

- ・県央保健所 ◆検査日 第1・第3水曜日
◆受付時間 午前10時～11時
◆申込・問合せ ☎629-6573
 - ・町内医療機関 ◆医療機関で受ける場合は、直接医療機関へ電話でお問い合わせください。
- ※委託医療機関での検査は、保健所への事前申請が必要でしたが、今年4月から委託医療機関で直接検査を受けられるようになりました。

医療機関名	電話番号
紫波地域診療センター	☎676-3311
加藤胃腸科内科医院	☎672-3699
川守田医院	☎676-5553
はたふく医院	☎672-2121
すずきあきひこ消化器内科クリニック	☎671-2011
渡辺内科医院	☎672-3667

おなかスッキリ!! 腹囲マイナス1センチ講座

仕事帰りに! 家事の合間に! 楽しく動いてエネルギーを消費しやすい体に変えてみませんか。(定員30人、参加費無料)

- ◆日時 11月30日(火)、12月2日(木)、7日(火)、9日(木)、14日(火)、16日(木)、21日(火)
午後7時～8時
- ◆会場 保健センターホール
- ◆内容 エアロビクス、ストレッチ
- ◆講師 体育指導員 高橋厚子氏

健やか
ランドしわ
[しわ健康情報
コーナー]

お知らせ

肝炎相談会のご案内

C型肝炎、B型肝炎ウイルスキャリアの人を対象に、専門医の個別相談会を開催します。肝臓の状態や治療の内容について、お気軽にご相談ください。

- ◆日時 11月28日(日) 午後1時～(相談時間1人20分)
- ◆会場 保健センター
- ◆相談医 あべ菜園内科クリニック 阿部弘一院長／
岩手医科大学消化器・肝臓内科 宮坂昭生先生
- ◆申込 11月18日(木) 正午まで(先着20人)

禁煙チャレンジ塾のご案内

町の保健師が手紙や電話などで個別禁煙を支援します。3カ月コースでチャレンジしてみませんか。

- ◆募集人数 10人
- ◆初回面接日 12月9日(木) 変更可
- ◆期間 禁煙開始から3カ月間
- ◆申込・問合せ 11月26日(金) まで

禁煙電話相談 月～金曜日(午前8時30分～午後5時15分) も行なっておりますので、お気軽にご相談ください。

家庭介護講座のご案内

家庭で実践できる介護方法の紹介、最近の介護器械や設備を見学します。

- ◆日時 12月2日(木) 午前9時に保健センター集合(マイクロバスで移動)
- ◆会場 県高齢者総合支援センター(県福祉総合センター3階) 盛岡市本町通3丁目19-1 ☎625-7490
- ◆申込 11月24日(水) 長寿健康課 健康推進室まで

◆申込・問合せ 長寿健康課 健康推進室 ☎672-4522 有線01-8991

体よろこぶレシピ

紫波町食生活改善推進員協議会
志和地区会員
高橋政子さんのレシピです



里芋の ずんだ和え

今月の
素材
POINT

里芋は芋類の中でもカリウムを多く含んでいるので、高血圧予防に効果的です。また、食物繊維も豊富で水分が多いので芋類の中ではカロリーが低いことも特徴です。



材料（4人分）

里芋…200g、枝豆（ゆでたもの）…50g、白すりゴマ…大さじ1、砂糖…小さじ1、牛乳…大さじ1程度、めんつゆ…小さじ1～2

作り方

- ①里芋をゆで、皮をむいて一口大に切る。
- ②ゆでた枝豆は、さやから取り出してすり鉢ですり、白ゴマ、砂糖を加える。
- ③白ゴマ、砂糖をよく混ぜたら、牛乳とめんつゆを加えて、ずんだをのばす。（牛乳の量で固さを調整）
- ④最後に①と③を和えて出来上がり。

作る量が多い時は、枝豆をミキサーにかけると簡単に作ることができます。また、里芋をつぶして衣をつけて揚げるとコロケにもなります。

健康

野村保健師



「認知症」あなたは 知っていますか？

今月は「適切なケアで介護負担を減らす～誰にでも見られる中核症状編～」についてお知らせします。

「中核症状」とは「認知症の人には誰にでも見られる症状」のことをいいます（6月号総合版）。ポイントは「もの忘れを責めない」「相手の発言を否定しない」こと。

認知症の人は、ちょっと前に聞いたことを忘れてしまうので、実際に同じ質問をしていても、初めて質問をしたという認識です。それなのに「だからあ、さっきも言ったでしょ！」と言われてしまうと面白くありません。それが積み重なると、「分からないから聞いたのに、すぐ怒る」→「イヤなやつだ」と、介護者に敵意を抱くようになってしまいます。そんなときは、同じことを答えることが苦痛であっても、根気よく同じことを答えたほうが相手は傷つかず、介護も楽になります。

また、食事をしたばかりなのに、催促してくることもあります。その場合は「いま支度しますね」などと、相手の発言を否定せずに話しを合わせると、混乱することはありません。

こうした接し方は冷静でなければできないものです。認知症の人を刺激せず、不安などのストレスを増やさないようにすると、激しく極端な行動を誘発することが減るため、介護が楽になります。詳細について相談したい人は、下記までお電話をください。

次号は「適切なケアで介護負担を減らす～徘徊などの周辺症状編～」についてお知らせします。

◆認知症に関する相談先

紫波町地域包括支援センター ☎671-1101

■**ポイントの内容** 太陽熱温水器の有効集熱面積1㎡当たり1万ポイント分のエコbeeクーポン券を交付します。(上限は6万ポイント、6㎡)
 ■**申請・問合せ** 環境課 循環政策室
 ☎672-6892

「日詰駅前地区都市再生整備計画」事後評価結果(原案)を公表しています

本地区における社会資本整備総合交付金事業は「日詰駅前地区都市再生整備計画」に基づいて進めています。事業期間が本年度で終了するため、町は事後評価を行い、その結果を公表しています。

■**公表期間** 11月9日(火)～22日(月)

■**閲覧場所** 都市計画課(役場第2庁舎)、町のホームページ<http://office.town.shiwa.iwate.jp/>

■**問合せ** ご意見のある人は、郵送、電話、ファックス、電子メールで受け付けます。☎028-3392(住所不要)
 紫波町役場 都市計画課 都市整備室
 あて ☎672-2111 内線5231・5232 FAX 676-6440
 ✉toshikei@town.shiwa.iwate.jp

町管理型浄化槽整備事業 2011年4月以降も実施!

紫波町管理型浄化槽整備事業は、2011年4月以降も引き続き実施します。

■**対象** 公共下水道と農業集落排水事業集合処理区域を除く区域

この事業は、町が浄化槽の設置工事から維持管理まで一括して紫波PFI浄化槽整備株式会社に委託して実施しているものです。浄化槽の設置希望者が分担金を負担し町が浄化槽を設置。その後、使用者の使用料により町が浄化槽を管理します。

■申込・問合せ

浄化槽工事申請・維持管理について

紫波PFI浄化槽整備株式会社

☎672-2756

浄化槽工事分担金・使用料について

役場下水道課 ☎672-2111

内線5322、5323 有線01-3061

小規模工事等の契約希望者の登録を受け付けています

町が発注する小規模な建設工事などについて、町は、町内業者の受注機会の拡大を図るため、登録制度を導入しています。定期受付後も随時

登録を受け付けていますので、希望する人はお問い合わせください。

■**申込・問合せ** 総務課 総務文書室
 ☎672-2111 内線3122・3123

Make a wishの大野さん講演会

難病の子どもたちの夢をかなえる活動を行っているメイク・ア・ウィッシュ・オブ・ジャパンの大野事務局長による講演会が開催されます。(子ども連れ可)

■**日時** 11月22日(月)

午後7時～8時30分 申込不要

■会場・問合せ

認定こども園ひかりの子

(日詰幼稚園) ☎672-2542

税務署からのお知らせ 「年金所得税の改正」

相続や贈与などによって取得した生命(損害)保険契約などに関係する年金について、所得税の取り扱いが改められましたのでお知らせします。この変更により、所得税の還付を受けることができる場合があります。

■問合せ 盛岡税務署

☎622-6141 国税庁ホームページ
www.nta.go.jp

盛岡信用金庫と協働で新しい太陽光発電等の設置の仕組みを整えました!

紫波町内限定50棟、初期費用0円で エコな暮らしを始めてみませんか

受付
12/24
まで

- 当社が厳選した機器(太陽光発電、太陽熱温水、内窓)から設置するものを選びます。
- 設置費用等は盛岡信用金庫がご融資します。(保証会社の保証を受けられる方に限ります)
- 10年間等の月々料金だけで、17年の長期保証付き!故障修理に追加出費はありません。
- 今なら、国の補助金や、町から商品券(エコbeeクーポン)がもらえます。

持続可能な岩手に時代をすすめる

環境エネルギー普及(株)

☎019-623-3684

盛岡市本町通2-8-25

FAX050-3737-2747

info@kankyo-energy.co.jp

好評受付中!

気軽にご相談下さい。資料を送ります。

ソフトデジタルパーマ

ふんわりウェーブで、スタイリングモラク

新規のお客様限定

ショート 12,000円 → 8,400円
 ロング 15,000円 → 10,500円

カット(1S・B込) ¥2,200～ パーマ(S・C・B込) ¥3,980～
 カラー(リタッチ) ¥2,980～ 着付(一般) ¥6,000～

オススメ

ヘナカラー(100%天然植物成分) 新規限定で 6,000円 → 5,000円

全フロア、バリアフリーでお待ちしております。
 【営業時間】8:00～18:00(受付17:00まで)
 【定休日】月曜日【駐車場】10台 ★予約優先



Salon de Passe サロンド・パッセ

日詰西6丁目1-8 携帯090-8922-8795 TEL.672-2700



相心館 Kami Hikoki

秋の味覚にパーマと
ヘッドスパを提案します

この広告部分を切り抜いてご持参の方限定

ヘッドスパデトックス 50%OFF

パーマ・カラーカット 500円OFF

縮毛矯正 15%OFF 11月24日まで

成人式
お支度
受付中

モーニングサービス「火曜～金曜」

AM9:00～12:00 10%OFF

メール会員は、携帯ホームページにて
サービスクーポンをご覧ください!

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷 6-31 TEL019-676-5825

新規メール会員 E-mail kami hikoki@posh.jp

OPEN 9:00～CLOSE 19:00 定休日/毎月曜日・第三日曜日



暮らしの情報

募集

胡堂講座受講者募集

彦部公民館長の八重嶋純氏を講師に招き、胡堂と学友たちの書簡をもとにお話いただきます。

■日時・内容 ○12月4日(土) 第4回「学友からの手紙1」○12月18日(土) 第5回「学友からの手紙2」ともに午前10時～正午

■費用 入館料 一般300円
小中高生150円(協会会員無料)

■定員 各30人

■申込・問合せ

野村胡堂・あらえびす記念館

☎676-6896 FAX676-6897

第37回紫波町読書感想文コンクール作品募集

■応募資格 町内に居住・就学・勤務している人

■応募規定・区分 自由課題(教科図書教材を除く)、未発表作品、①小学生低学年の部(800字以内) ②小学生中学年の部 ③小学生高学年の部(1200字以内) ④中学生の部(1600字以内) ⑤高校生・一般

の部(2000字以内)、400字詰(20行×20字) 縦書き原稿用紙

■応募方法 2011年1月27日(木)までに、小中学校・高校は学校へ、一般は中央公民館へ直接または郵送(当日消印有効)でご応募ください。

■応募先・問合せ 中央公民館

☎672-3372 〒028-3305

紫波町日詰字下丸森24-2

http://www.phall.shiwacho.ed.jp/

食育事業のアイデア募集

町は、地域力を生かした食育を推進するため、次のとおり事業提案を募集します。

■提案団体の対象 町内で食育にかかわる活動が可能なボランティアグループ、市民活動団体、NPO、自治会、企業などの団体

■提案していただく内容

- 1.食育推進計画の目標を達成する事業
- ①子どもと子育て世代の食の実践
- ②地域力を生かした食文化の継承
- ③健康で生き生き暮らす食の地域交流
- ④循環型農業による食農体験
- ⑤世代間交流で食の伝承
- 2.柔軟性、先駆的、専門性に富んだ事業
- 3.提案した団体が実施可能な事業

■事業実施期間 2011年4月1日～2012年2月末

■結果の公表

町広報『紫波ネット』2011年3月号

■申込・問合せ

11月30日(火)

まで 農林課

食育担当

☎672-6915

✉shokuiku@town.shiwa.iwate.jp

青少年ホーム・受講生募集

12月に開講する講座の受講生を募集します。受講には、青少年ホームへの登録(登録料500円)が必要です。

■時間 午後7時～9時

■場所 勤労青少年ホーム

○華道体験講座(定員各10人)

①12月6日(月) クリスマスリース作り

②12月13日(月) クリスマスのお花

③12月27日(月) お正月のお花

材料代1,500円～2,000円程度(当日払い)

○クリスマスケーキ作り講座(定員8人)

12月7日(火)、材料代500円

○アメリカの家庭料理で祝うクリスマスディナー料理講座(定員10人)

12月17日(金)、材料代1,000円

○おもてなし料理講座(定員10人)

12月16日～2月24日(毎月第2・4木曜、初回は第3木曜) 全5回
材料代3,000円(5回分)

■問合せ 青少年ホーム

☎676-2344

お知らせ

太陽熱温水器にもエコbeeクーポン券

町は、今年4月からスタートしている「循環型エコプロジェクト推進事業」の対象に、新エネルギーの導入促進に向けて「太陽熱温水器の購入」を追加しました。本事業は、二酸化炭素の排出削減量に応じて「エコbeeクーポン券(商品券)」を交付する取り組みです。

■交付対象者 住宅に太陽熱利用温水器をこれから設置する人

早めの入校が断然お得!今すぐ紫波中央へGO!!

早割実施中

対象車種:普通車(MT・AT)
対象者:高校生・専門学生・大学生
対象期間:平成22年10月1日から11月末まで

期間中に入校された方に限り、通常料金より、

10,000円割引させていただきます。

(原付免許なし・原付の場合) 通常料金
普通車(MT) ¥286,950 → ¥276,950
普通車(AT) ¥271,950 → ¥261,950

※上記の料金は最低限の料金です。(全車買取、後述の他の費用を含みます。)
※卒業後、購入した車を売却する場合は、上記の料金から、その売却後、
とします。(補償額100万円、修繕代2,500円、年保代3,000円)
※補償額は2,000円以内の範囲で設定します。(詳しくは、)
※お客様の都合により中止された場合は、入学と別に実施した教育等の料金は返金致しません。
※卒業後、購入した車を売却する場合は、上記の料金から、その売却後、
とします。(補償額100万円、修繕代2,500円、年保代3,000円)
※補償額は2,000円以内の範囲で設定します。(詳しくは、)
※お客様の都合により中止された場合は、入学と別に実施した教育等の料金は返金致しません。

公認 紫波中央自動車学校

〒028-3304 紫波町二日町字西七久保66番1 しわちゅう 検索
http://www.shiwachu.jp/ Tel. 019-672-4316 ☎0120-219-196

中央葬祭センター シンセラホール紫波

仏壇展示即売会

11/27(土)・28(日) 好評につき第2弾

午前9時～午後6時
会場 シンセラホール 紫波
仏壇リフォーム無料見積り承ります
中央葬祭センター
「シンセラホール紫波」
岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎676-7676
FAX676-4404

紫波町に定住・住替をお考えの皆さんへ

分譲販売中 残り 5区画 4区画
古館NT内 北日詰大日堂
オール電化建売住宅 1,860万円(消費税込)
延べ床面積 97.31㎡
土地面積 182.05㎡

●所在地/紫波町中島字桜田
●交通/JR古館駅徒歩5分・距離400m
●建物構造/木造軸組工法2階建
●完成予定/契約後3カ月
●建築確認/H22-00712号
エコキュート、IHクッキングヒーター
大型蓄熱暖房機1台、照明・カーテン付
普通車4台駐車可能、6m南面道路
不動産の売買・仲介、自社開発宅地・建物分譲
(社)全日本不動産協会 東北地区不動産公正取引協議会 会員
岩手県知事免許(1)2255号
ウエノ不動産管理(有)
☎671-2072 FAX671-2073
日詰字下丸森9-4(養老乃瀧 紫波町店となり)
最新情報はホームページへ ウエノ不動産管理 検索

広告有効期限/平成22年11月30日

こちら、 野村胡堂・あらえびす記念館

「銭形平次を読み解く」

「平次のヒューマニズム①(恵まれない者へのあたたかさ)」

野村胡堂・あらえびす研究会 外崎 菊敏

第8回

胡堂は一高卒業間際、野村家の人々が泣き騒ぐほどの大病をした。大学在学中には父に死なれて大学を中退、ハナとの新婚生活は貧乏のどん底。また、後に、愛する子どもたちを次々に失う地獄も体験した。

胡堂は恵まれない人を見ると同情心で一杯になった。特にも、子どもやお年寄り、女性には優しくした。

胡堂のあたたかさが平次に表現される。「金の茶釜」はその典型的な作品。

貧しい漁師の藤六は、中風で身動きができない母親に「戸も障子もある家に入れ、あたたかいものを着せ、うまいものを食わせたい」と苦悩する。金を借りていた増屋佐五兵衛に「綱に掛かった茶釜に金メッキをして、孝行息子に宝が授かったと触れて見世物に出すように」と持ちかけられる。「金が返せないのなら妹お春を奉公に」と脅かされ、仕方なく孝行息子を演じたが、思い余って茶釜を井戸に隠す。

平次は増屋が懸賞金百両を掛けたこの茶釜を探し出す。藤六に三十両の借金を返させ、残り七十両を「せめて雨戸のある家に引っ越して親孝行をするが良い」と手渡す。

「雪の精」も心あたたまる作品。越後屋佐吉は、お才を吉原へ遊女に売り、妹のお駒を下女に使う。姉妹は佐吉に、絞られるだけ絞られた。お才は無理がたたって吉原で亡くなる。妹お駒は佐吉に姉の恨みを晴らすと、雪の晩、佐吉夫婦を襲って女房を殺す。

平次はお駒に深く同情し、佐吉から溜まった給金と手当百両を出させ、これを持たせ、ふるさと越後に帰す。

江戸の人々には、失敗し躓いた者、恵まれない人、負け組を応援するあたたかさがあったという。人の心を癒すのはあたたかな人の心。銭形平次は「癒しの捕物帳」であり「人生の応援歌」だ。

ハワードさんの 英語クイズ!

10月号の答え:
ワンピースの
モンキー・D・
ルフィー
(和訳:海賊王に
俺はなる。)

町英語指導助手
ハワードさん

この英文の答えは何?

What is the capital of Iwate Prefecture?

★正解者の中から3人に図書カードをプレゼント。郵便はがきまたは電子メールで、①住所、②氏名、③年齢、④電話番号、⑤答え、⑥『紫波ネット』の感想(意見)を記入の上、ご応募ください。締切は11月30日消印まで。

→〒028-3392紫波町役場 企画課情報政策室「英語クイズ」係
✉ joho@town.shiwa.iwate.jp

おかげさまで ワイン販売 5周年

記念イベント開催

12月10日(金) 午後6時30分～

場所/JAいわて中央 パーフルパレス 会費/3,500円

(株)紫波フルーツパーク(紫波町第三セクター) 紫波町連山字松原1-11(道の駅紫波の裏手)
☎019-676-5301 URL <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/>



- ・ピアノ・バイオリンの生演奏を聴きながら美味しいワインを飲みませんか。
- ・2005年産～2009年産ワインをご用意します。
- ・貴腐混醸ワインやリースリングなども楽しめます。

紫波町住民基本台帳カードをお持ちの皆様へ

カードご提示で

11/15～

通常入浴料
700円を

500円

La France
ラ・フランス温泉館

〒028-3444 岩手県紫波郡紫波町小屋敷字新在家90番地

ハダカのおつきあい一家だらん

☎019-673-8555

FAX 019-673-8556 E-mail yoyaku@lafrance.co.jp
URL <http://www.lafrance.co.jp/>

躍進する農林業を目指す

9月下旬までの猛暑が一転して涼しくなり、秋は早く初冬の兆しが漂ってまいりました。突然ですが、町の基幹産業である農業が厳しくなってきたいます。農業が曲がり角にきていると言われて久しいのですが、今の状況では、農業が存亡の危機的状況にあると言っても過言ではないと思います。

この原因は、農協から米農家に支払われる本年度の概算金が8千7百円と、前年度より3割安い価格を提示されたことにあります。本年度から創設された戸別所得補償制度が摘要される

としても、差額の半分程度しか補てんすることができない状況なのです。米価が下がる原因は、米の消費減退が考えられます。一時は小麦粉の値上がりで、米の消費が伸びたと思っていたのですが、実は減少したことが大きな原因だと言われています。新聞によると、今、政府は、経済連携協定（EPA）の基本方針を閣議決定し、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の交渉に参加する方向性を示しています。日本農業が世界の中で到底競争にならないことは、火を見るより明らかであります。

もしもこの協定に参加するのであれば、政府に対して、自由貿易に対応できる農業に変えるだけの支援を強力に要望するとともに、関係団体が一団となり、運動を展開していく必要があります。現在の農業後継者の状況は、農家で生まれ育ち後継者になる人と、新規就農者として農業に挑戦し実績を積んで後継者となる人と、2つの方向が見られる傾向にあり、町は、農林業の後継者育成と農家所得の向上に向けた6次産業への支援を本年度から実施しています。また、「農

林業公社」の2011年度設立に向けての協議も重ねています。現状では、重い荷物を背負つての発足となるものと思いますが、将来を見据えた農林業に携わる皆さまへの支援の一助と、紫波町型農業の確立に傾注してまいります。

藤原 孝

※環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）とは、現在、シンガポール、チリ、ブルネイ、ニュージーランドが加盟している自由貿易協定。米国、豪州、ペルー、ベトナム、マレーシアが加盟交渉中であり、日本、カナダ、メキシコ、韓国が参加を検討中。

※経済連携協定（EPA）とは、関税や数量制限を撤廃し、経済領域での連携強化・協力の促進などを含めた協定。

PICK UP!



彦部小学校で児童代表に手渡す近谷会長

子どもを守る防犯ベル寄贈

彦部地区防犯協会（近谷義見会長）は10月4日、子どもたちを不審者から守るため、彦部・星山の両小学校に全校児童分の防犯ベル（彦部小53個、星山小52個）を寄贈しました。

東部土地改良区の新事務所落成

紫波東部土地改良区（花籠陽太郎理事長、組合員1,049人）は、JA岩手中央東部支所北側に事務所を新築移転し、関係者ら約100人が参加のもと、10月10日に落成式を行いました。1974年に建築された旧事務所は老朽化が著しく、総代会の議決を経て新築を決定。新事務所は木造平屋建て、床面積362.08㎡、総工費約3,000万円、玄関先にある直系約1mの大きな柱が特徴的な建物です。



新事務所前で披露された星山神楽の舞



- 1 自然石に線刻された爪書地藏尊
- 2 地藏尊が安置されている集会所
- 3 国道4号付近を流れる大坪川
- 4 案内役の小笠原悦子さん



シリーズ ボランティアガイド
「しゃ・べーる」と
いってみよう!
「しわむかしばなし」編

「夜泣き石」「汗かき地藏」「大日堂の怪石」などの昔話が残るお地藏さん

桜町「爪書地藏尊」

◎案内役／観光ボランティアガイド「しゃ・べーる」 小笠原悦子さん

しわ
むかし
ばなし

「キギスと夜泣き石」

昔々、桜町の^{おつばがわ}大坪川の川辺にキギス（キジの古語）と言う白拍子（遊女）が住んでいた。美人であるほかに芸にも優れていた。

ある日、源頼朝が陣ヶ岡に露営したとき、酒の席に呼ばれたキギスは芸を披露した。

たちまち頼朝に気に入られ、一夜のおとぎが縁となって子を宿し、やがてキギスは玉のような男の子を産んだ。

これを聞いた頼朝は、妻政子の嫉妬を恐れ、家来の一人にその子を亡き者にするように命じた。

家来はその赤子をさらい、大坪川の淵に投げようとした途端、急に赤子が重だぐなつて、腕の中がらすると落ちた。これは、「これは、おかしい」と周りを見だつれば、赤子が落ちただけで腰位もある大石が横たわっていた。

※この地藏尊は、日詰にあった地藏庵の本尊で1692（元禄5）年9月に制作されたものであり、俗に「汗かき地藏」とか「弘法の爪書地藏」と称されている。庵寺は1865（元治2）年に焼失したまま廃寺となった。『紫波町史』より

た。

それからというもの、真夜中になるとその大石のあたりから、「ほぎやー、ほぎやー」と赤子の泣き声がした。里人は誰と云うことなく、この石を「夜泣き石」と呼ぶようになった。後になって、この事を哀れと思つた近くの人々は、その石にお地藏さんの姿を刻んで供養した。そして、何時からか「弘法の爪書地藏」と呼ばれる。あつい信仰を受けるようになった。

キギスの住んでらった辺りにあった橋を「キギスの橋」とか「キリギリスの橋」とかいってらった。今でも国道4号の工事によって、今はなぐす。どつとはれ

参考図書：「紫波町ふるさと物語」